#### PATENT COOPERATION TREATY

## **PCT**

# INTERNATIONAL PRELIMINARY REPORT ON PATENTABILITY (Chapter I of the Patent Cooperation Treaty)

(PCT Rule 44bis)

Applicant's or agent's file reference PCT0770	FOR FURTHER ACTION	See item 4 below		
International application No. PCT/JP2005/003568	International filing date (day/month/year) 03 March 2005 (03.03.2005)	Priority date (day/month/year) 04 March 2004 (04.03.2004)		
International Patent Classification (8th edition unless older edition indicated) See relevant information in Form PCT/ISA/237				
Applicant TDK CORPORATION	-			

1.	This international preliminary report on patentability (Chapter I) is issued by the International Bureau on behalf of the International Searching Authority under Rule 44 bis.1(a).				
2.	This REPORT consists of a total of 5 sheets, including this cover sheet.				
* *	In the attached sheets, any reference to the written opinion of the International Searching Authority should be read as a reference to the international preliminary report on patentability (Chapter I) instead.				
3.	3. This report contains indications relating to the following items:				
	Box No. I	Basis of the report			
	Box No. II	Priority			
	Box No. III	Non-establishment of opin	nion with regard to novelty, inventive step and industrial		
	Box No. IV	Lack of unity of invention			
	Box No. V	Reasoned statement under Article 35(2) with regard to novelty, inventive step or industrial applicability; citations and explanations supporting such statement			
	Box No. VI	Certain documents cited			
	Box No. VII	Certain defects in the international application			
	Box No. VIII	Certain observations on the international application			
4.	<ol> <li>The International Bureau will communicate this report to designated Offices in accordance with Rules 44bis.3(c) and 93bis.1 but not, except where the applicant makes an express request under Article 23(2), before the expiration of 30 months from the priority date (Rule 44bis.2).</li> </ol>				
			Date of issuance of this report 05 September 2006 (05.09.2006)		
	The International Bureau of WIPO  Authorized officer				
34, chemin des Colombettes 1211 Geneva 20, Switzerland			Masashi Honda		

e-mail: pt08@wipo.int

Facsimile No. +41 22 338 82 70 Form PCT/IB/373 (January 2004)

### 発信人 日本国特許庁(国際調査機関)

70 D7 T T T T T T T T T T T T T T T T T T					
出願人代理人 大場 充	REC'D. 2 1 APR 2005				
様	PCT				
あて名	WIPO PCT				
	国際調査機関の見解書				
〒 101-0032	(法施行規則第40条の2)				
日本国	[PCT規則43の2.1]				
東京都千代田区岩本町1丁目4番3号 KMビル8					
階 大場国際特許事務所	<sup>務送日</sup> 19.4.2005				
人物国际14年 2007	(日.月.年)				
	今後の手続きについては、下記2を参照すること。				
出願人又は代理人	今後の子脱さにういては、「ニュュン				
の書類記号 PCT0770					
国際出願日	優先日 .				
国際出題番号   PCT/JP2005/003568 (日.月.年) 03.	03. 2005 (日.月.年) 04. 03. 2004				
国際特許分類 (IPC) Int.Cl.' C04B35/26, H	01F1/10				
war to the transfer to the tra	•				
出願人(氏名又は名称)	·				
TDK株式会社					
1. この見解書は次の内容を含む。					
X 第I欄 見解の基礎					
第11概 優先権	一体は、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、				
第Ⅲ棚 新規性、進歩性又は産業上の利用	可能性についての見解の不存成				
第IV欄 発明の単一性の欠如	1 - が用っていまった。				
マン郷 PCT規則43の2.1(a)(i)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての元件、					
それを裏付けるための文献及び説明					
第VI概 ある種の引用文献					
第WI棚 国際出願の不備					
第VII欄 国際出願に対する意見					
2. 今後の手続き	*************************************				
国際予備審査の請求がされた場合は、出願人がこの国	条調査機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その国 、大国際調査機関の見解符とみなさ				
国際予備審査の簡求がされた場合は、出願人がこの国際調査機関のとは異なる国際予備審査機関の見解者とみなさ際予備審査機関がPCT規則66.1の2(b)の規定に基づいて国際調査機関の見解者を国際予備審査機関の見解者とみなされる。ない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この見解者は国際予備審査機関の最初の見解者とみなされる。					
ない旨を国際事務局に通知していた場合を誘いて、こ	ない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この兄牌がは国際アル間は国際アルの				
この見解書が上記のように国際予備審査機関の見解書とみなされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日か この見解書が上記のように国際予備審査機関の見解書とみなされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日か					
との日本は低失日から22月のうちいずれか遅く例」,の例はが底壁,していて、この					
な場合は補正街とともに、答弁者を提出することがで	な場合は補正街とともに、答弁書を提出することができる。				
1	•				
さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照すること。					
3. さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の備考を参照すること。					
3. さらなる詳細は、様式アピーノーコムノングのロースをかがっています。					
見解書を作成した日					
30. 03. 2005					
	特許庁審査官(権限のある職員) 4T 8928				
名称及びあて先	三崎七				
日本国特許庁 (ISA/JP) 郵便番号100-8915					
東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	電話番号 03-3581-1101 内線 3415				
果水即   TVIPIC   IVIPIC   IVIPI					

第 I 棚 見解の基礎					
1. この見解書は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎として作成された。					
□ この見解書は、 語による翻訳文を基礎として作成した。 それは国際調査のために提出された P C T 規則12.3及び23.1(b)にいう翻訳文の言語である。					
<ol> <li>この国際出願で開示されかつ請求の範囲に係る発明に不可欠なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、 以下に基づき見解書を作成した。</li> </ol>					
a. タイプ	<b>配</b> 列表				
	<b>配列表に関連するテーブル</b>				
b. フォーマット					
	コンピュータ読み取り可能な形式				
c. 提出時期	出願時の国際出願に含まれる				
	この国際出願と共にコンピュータ読み取り可能な形式により提出された				
•	出願後に、調査のために、この国際調査機関に提出された				
3.					
4. 補足意見:					
,					
-					
	•				
,	·				
	·				

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についてのPCT規則43の2.1(a)(i)に定める見解、 それを裏付る文献及び説明

#### 1. 見解

 産業上の利用可能性 (IA)
 請求の範囲
 1-17
 無

#### 2. 文献及び説明

文献1: JP 57-18303 A (エヌ・ペー・フイリップス・フルーイランペンフアブリケン) 1982.01.30, 請求項1 & US 4397796 A, 請求項1 & GB 2076390 A & DE 3

119731 A1 & FR 2483120 A1

文献 2: JP 2-180004 A (川崎製鉄株式会社) 1990.07.1

2,請求項1, [産業上の利用分野],第3頁右上欄第20行~左下欄第

18行, 第2表

文献3: JP 2001-52943 A (日立金属株式会社) 2001.02.

23, 特許請求の範囲, 【0016】

#### 請求の範囲1~4

国際調査報告で引用された文献1の請求項1及び文献2の請求項1には、請求項1~4と同等のフェライト磁性材料が記載されているから、請求の範囲1~4に係る発明は新規性がない。

#### 請求の範囲 5

国際調査報告で引用された文献3の【0016】には、六方晶W型フェライト磁性材料にCa成分、Si成分を副成分として添加することが記載されている。よって、請求の範囲5に係る発明は文献1~3から進歩性がない。

#### 請求の範囲 6

文献2の〔産業上の利用分野〕には、電気機器等に用いられるプラスチック磁石の用途が記載されており、請求の範囲6に係る発明は文献2から新規性がない。 請求の範囲7

文献2の第3頁左下欄第2~7行の記載から平均粒子径が $0.6\mu$ mの粉末を用いればフェライトの平均結晶粒径は $0.6\mu$ m程度にもなるものであり、文献2の請求項1には焼結磁石が記載されていることから、請求の範囲7に係る発明は文献1及び2から進歩性がない。

#### 請求の範囲8

文献1の請求項1及び文献2の請求項1にはSr及びBaを含む六方晶W型フェライトが記載されており、上記のとおり平均結晶粒径が $0.6\mu$ mについては文献 2に、焼結磁石については文献1に示されているから、請求の範囲8に係る発明は

#### 補充欄

いずれかの棚の大きさが足りない場合

#### 第 V 棚の続き

文献1及び2から進歩性がない。

請求の範囲9、12

請求の範囲9、12で規定している物性値が、文献2の第2表と比較して格別顕著 ではない。よって、請求の範囲9、12に係る発明は文献1及び2から進歩性がな い。

請求の範囲10、11

請求の範囲10、11で規定しているBa/Sr+Ba(モル比)の値は、当業者 が適宜設定しうる値である。よって、請求の範囲10、11に係る発明は文献1及び 2から進歩性がない。

請求の範囲13

文献3の特許請求の範囲には、請求の範囲13と同じ製造工程によりフェライト焼 結磁石を製造することが記載されている。よって、請求の範囲13に係る発明は文献 3から新規性がない。

請求の範囲15、16

・ 文献2の第3頁右上欄第20行~左下欄第18行には、仮焼した粉末を粉砕した後 に不活性ガス雰囲気(酸素濃度が10vo1%以下であることは明らか)600~1 . 200℃を満たす温度で熱処理することが記載されている。よって、請求の範囲1 5、16に係る発明は文献2及び3から進歩性がない。

請求の範囲14、17

請求の範囲14の粉末の添加時期、請求の範囲17の粉砕条件は、当業者が適宜な し得る設計事項に過ぎない。よって、請求の範囲14、17に係る発明は文献 $1\sim3$ から進歩性がない。